

市長発言要旨

【発表事項】

① 令和8年度版 しあわせ循環 若者・子育て応援パッケージ（案）について

令和8年度から、新しいまちづくり総合計画「よねざわ しあわせビジョン 2035」がスタートいたします。

市民の皆様から、次年度予算に向けた分かりやすい政策資料の御要望がありましたので、第1期実施計画に掲載し、予算案として計上した事業の中から、特に力を入れている若者・子育て世代向けの事業を応援パッケージとしてまとめましたので御紹介いたします。

タイトルは、「すくすく！いきいき！わくわく！しあわせ循環米沢市」です。

本市で生まれ育ち、進学・就職、結婚・定住、そして親となり子育てする、このライフサイクルが何世代にも渡って循環して欲しい、その思いを込めています。

また、お一人お一人、本市にお住まいになるタイミングは異なります。例えば、子どもが県外に進学し、米沢市に戻って就職する。または、子どもができたことをきっかけに、米沢市に戻って子育てする。どのライフステージで戻ってきても、しっかり支える。そんな思いでサブタイトルに、「安心して子育てできるように いつでも戻って来られるように」をつけました。

資料中央の図のとおり、3つのフェーズに分けて、取組を分類しております。特に、黒色の星印がついている新規・拡充事業を中心に簡単に御紹介します。

資料の左側、「フェーズ1 すくすく！こどもの育ちを支えよう」は、「子育て・教育」に関する施策です。

資料一つ目の★ 妊婦健診の拡充では、妊婦歯科検診等

次の★では 産後2週及び1か月に実施する産婦健診

次の★ 出生児を持つ世帯等への紙おむつやごみ袋のプレゼント

次の★ 乳幼児健診の拡充では1か月児、5歳児健診を新たに実施します。

乳幼児健診としては、全員対象の健診・教室を、1か月、4か月、7か月、1歳8か月、3歳、5歳と切れ目なく成長を見守る体制をとります。

一つ飛んで、★ インフルエンザ予防接種費用の最大3,000円の助成を新たに実施します。

次に資料の右側に移りまして、「フェーズ2 いきいき！みんなで学んで働こう」は、「進学・就職」に関する施策です。

二つ目の★ 三友堂看護専門学校の入学金15万円を補助し、地域医療を担う学生を支援します。

四つ目の★では 市内大学の新卒者で、市内事業者等への就職者に対して、企業と一緒に10万円の祝い金を支給します。

次の★ 奨学金返還支援では、県の事業（新やまがた就職促進奨学金返還支援）への上乗せ額を増額し、県内最高水準となる最大220万円の支援を行います。

次の★では新しい商工会議所会館内への「(仮称)産業振興センター」整備を支援いたします。

最後の「フェーズ3 わくわく！ここで出会って暮らそう」は、「結婚・定住」に関する施策です。

3つ目の★ 未来のすまい応援事業費補助金として、子育てする若者世帯の新築費用に対して最大100万円の補助を行います。

最後の☆安心できる医療環境の提供では、引き続き診療所の新設・継承に補助を行ってまいります。令和8年度においては、補助の対象科（内科）を拡充するほか、小児科に対しては500万円の加算措置を講じ、総額1,500万円の補助を行います。

駆け足で概要を説明いたしました。これらの内容を当初予算に計上し、来週からの予算特別委員会に臨んでまいります。

なお、予算成立後には、SNSやホームページを通して、具体的な事業の紹介を行っていきたいと考えております。

② 米沢市立東成中学校の開校延期について

市立第一中学校と第七中学校を統合した東成中学校の開校を、予定されている令和11年度から3年間延期し、14年度とする方針を、先般、市議会に説明しました。

統合により中学生の皆さんの教育環境をよりよくしていく、その思いは何ら変わりません。つまり統合の方針は変わりありません。しかしながら、同時に、最近の異常気象にも対応しなければいけません。また、部活動の地域展開が始まる中で、中学校の屋内体育館への空調設備の設置が急務となっています。

昨今の物価上昇に伴い建築費の増加が見込まれる中、これらを同時に行うことは財政上大変難しくなっています。そこで、統合を延期することで、一時的に財政の負担を抑え、すべての中学校の体育館に空調設備を設置し、市全体の教育環境を整えていきたいと思っております。

延期の決定には開校延期に係る改正条例の議会の議決が必要です。こうしたことも踏まえ、多くの皆様から御意見を頂戴し、議論を深めていきたいと思っております。

③ 赤芝配水池及び送水施設の供用開始について

令和8年3月末をもって廃止する「館山浄水場」の代替施設として整備を進めてきた「赤芝配水池および送水施設」の供用開始について御報告いたします。

館山浄水場は、築50年以上が経過し老朽化が進んでいること、また、将来的には給水人口の減少に伴い給水量が減少することも予想され、その対応が課題となっていました。この状況を踏まえ検討した結果、館山浄水場の施設の更新は行わず、山形県企業局が運営する置賜広域水道から水道水の供給を受けることとし、その受水に必要な配水池や関連設備を令和3年度から整備してまいりました。

この度、これらの施設整備が完成することから、新しく整備した「赤芝配水池」に切替え、置賜広域水道からの水道水の供用を開始いたします。

供用開始に伴い、給水の切替え作業を3月12日に三沢地区、17日に西部・塩井・広幡・六郷・窪田地区の全部または一部の地区を対象に実施します。

作業は、利用時間が少ない深夜帯に行いますが、一時的に濁り等が発生する可能性もありますので、濁りの解消や給水車を待機させるなど、万全の態勢で対応いたします。

なお、これまで館山浄水場からは、市全体の約18%に相当する、一般家庭・事業所など約5,700件に供給しておりました。

この度の切替えにより、本市が供給する水道水の99%が山形県企業局の笹野浄水場で処理された水になります。

また、供用開始を記念した完成記念式典を3月23日に赤芝配水池構内で開催します。この式典は、館山浄水場の廃止に伴う新たな水道供給体制の確立について市民にお知らせするとともに、関係者への感謝を表す目的で行われます。なお、式典は米沢市と山形県企業局による共同開催となります。

共同開催となった経緯は、笹野浄水場から赤芝配水池までの送水施設は県企業局が整備したものであり、県と市による水道事業の広域連携の取組みともなることから共同開催となりました。

事業費については、現時点ではまだ確定しておりませんが、本市が約26億円、県企業局が約6億3,000万円となっております。

最後になりますが、今後も市民生活を支えるため、安全で安心な水道水を供給する施策を推進し、地域づくりに取り組んでまいります。皆様が水の大切さを実感し、安心して暮らせる環境を維持できるよう引き続き尽力してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

④ 米沢上杉まつり一般参加者募集開始のお知らせ

本市最大のイベントであります「米沢上杉まつり」を共に盛り上げていただく、一般参加者の募集についてお知らせいたします。本年も、市民の皆様や観光客の方々が主役となって、共に楽しんでいただける内容となっておりますので、ぜひ御参加いただきたいと思っております。

4月29日に開催される、開幕祭では「民踊流し」および「ステージイベント」の参加者を募集いたします。「民踊流し」では、華やかな踊りで城下町米沢を彩っていただける団体を広く募集いたします。また、伝国の杜前 特設ステージにおいて、歌やダンスなどのパフォーマンスを披露していただける皆様に募集します。

5月2日の夕刻には、上杉謙信公が出陣に際し戦勝を祈願した儀式「武てい式」を執り行います。戦国時代の厳かな空気を再現する本行事において、甲冑武者として参加し、ともに歴史絵巻を創り上げていただける方を募集いたします。なお、本件につきましては定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

5月3日は、上杉まつりのクライマックスとなる「上杉軍団行列」および「川中島合戦」が開催されます。「川中島合戦」は、上杉謙信公と武田信玄が激突した戦国史上最大の死闘である「川中島の合戦」を再現する、本まつり最大の見どころです。甲冑を身にまとい、軍団行列および合戦に参加していただく「甲冑武者」に加え、昨年からは実施しております上杉軍・武田軍の「大将役」についても募集いたします。多くの観衆を前に、戦国時代にタイムスリップしたような臨場感を体感していただける機会があります。

さらに、本まつりの象徴である「上杉謙信公役」を決定するオーディションを実施いたします。軍団行列の出発式において出陣の号令を発し、騎乗して軍勢を率いる、まつりの「顔」となる重要な役割です。熱意をもって堂々と演じていただける方の御応募を期待しております。

募集期間や応募方法などの詳細につきましては、「上杉まつり公式ホームページ」において順次御案

内してまいります。

報道関係の皆様におかれましては、本市の春を象徴する「米沢上杉まつり」の参加者募集について、広く発信していただきますようお願い申し上げます。

⑤ 令和8年度クマ対策の庁内体制について

昨年はクマの出没が相次ぎ、環境課を中心に森林農村整備課など他の課の応援を得ながら対応しましたが、早朝、夜間、休日の出勤も多く、担当課の職員負担が非常に大きい状況でした。

そこで、令和8年度からクマも含めた有害鳥獣対策を森林農村整備課に一元化するのに併せて、全庁横断的なクマ対策特別チームを編成し、対応にあたる予定です。

具体的には、主管課となる森林農村整備課の職員のほかに、本庁舎内の各部署から職員を動員し、1チーム当たり3名の応援職員を加えて対応することを想定しています。全部で8チームを編成し、1日交代のローテーションで対応するので合計24名を動員予定です。4月早々にミーティングを行った上で、クマ出没時の現場対応に当たります。チームには教育委員会はありませんが、学校の登下校などの対応もあるため、連携を図ってまいります。

市民の皆様も春先のクマ出没を心配しておられると思いますので、市の体制を強化した上で、これまで同様、警察や猟友会と緊密に連携し、対応に当たってまいります。